

8. 河川空間の利用状況

8-1 河川の利用状況

白川の下流域の河川空間は、熊本市民のレクリエーション活動や行事等に利用されている。

年間を通じてゲートボール場やその他のグラウンドとして利用されており、下流左岸部（3/000 地点や 5/000 地点）の白川運動公園や白川河川緑地のスポーツ施設において、サッカーが盛んに行われている。また、イベント等の利用としては、伝統行事のどんどや、植木市、防災訓練等がある。

広範囲な利用がなされているのは、右岸黒髪地区（熊本大学工学部前付近）や白川橋から泰平橋にかけての左岸側の高水敷で、特に祭りや催し物及び運動場に利用されている。また、上流から下流にかけて全域を通して散策が多く、次いで釣りの利用が多い。

・どんどや（河口から約 15km 地点）

無病息災を願って 1 月 13 日～14 日に行われる伝統行事で、小竹を束ねて作ったしん木の先端に取り付けた 3 本の縄を交互に巻きつけ、火をつけて健康を願う。



・鶴田公園（河口から約 13.5km 地点）

白川河畔にある熊本市民の憩いの場で、毎年春先には桜が咲き、花見客でにぎわう。



・くまもと植木市（河口から 11km 地点）

410 余年歴史と全国有数の規模の植木市は、白川河川敷で行われ、熊本に春を告げる風物詩として親しまれている。県内外の約 210 業者が約百万点を出品。4 万㎡を超える会場には、ほころび始めた梅やツバキ、松などの盆栽や庭木、モデル庭園が並び、ビニールハウス内では洋ランやサクラソウなどの花鉢が色とりどりの花をつけ、期間中約 70 万人の人出がある。



・白川運動公園（河口から 3km 地点）

左岸側の高水敷に設置されている運動公園ではサッカーや野球が盛んに行なわれている。



・グライダー飛行場（河口から 3km 地点）

右岸側の高水敷に設置されている。グライダー飛行場は九州では阿蘇と白川河口部の 2ヶ所である。



・河岸緑地（河口から 13km 地点）

左右の河岸には緑地があり、市民の憩いの場となっている。

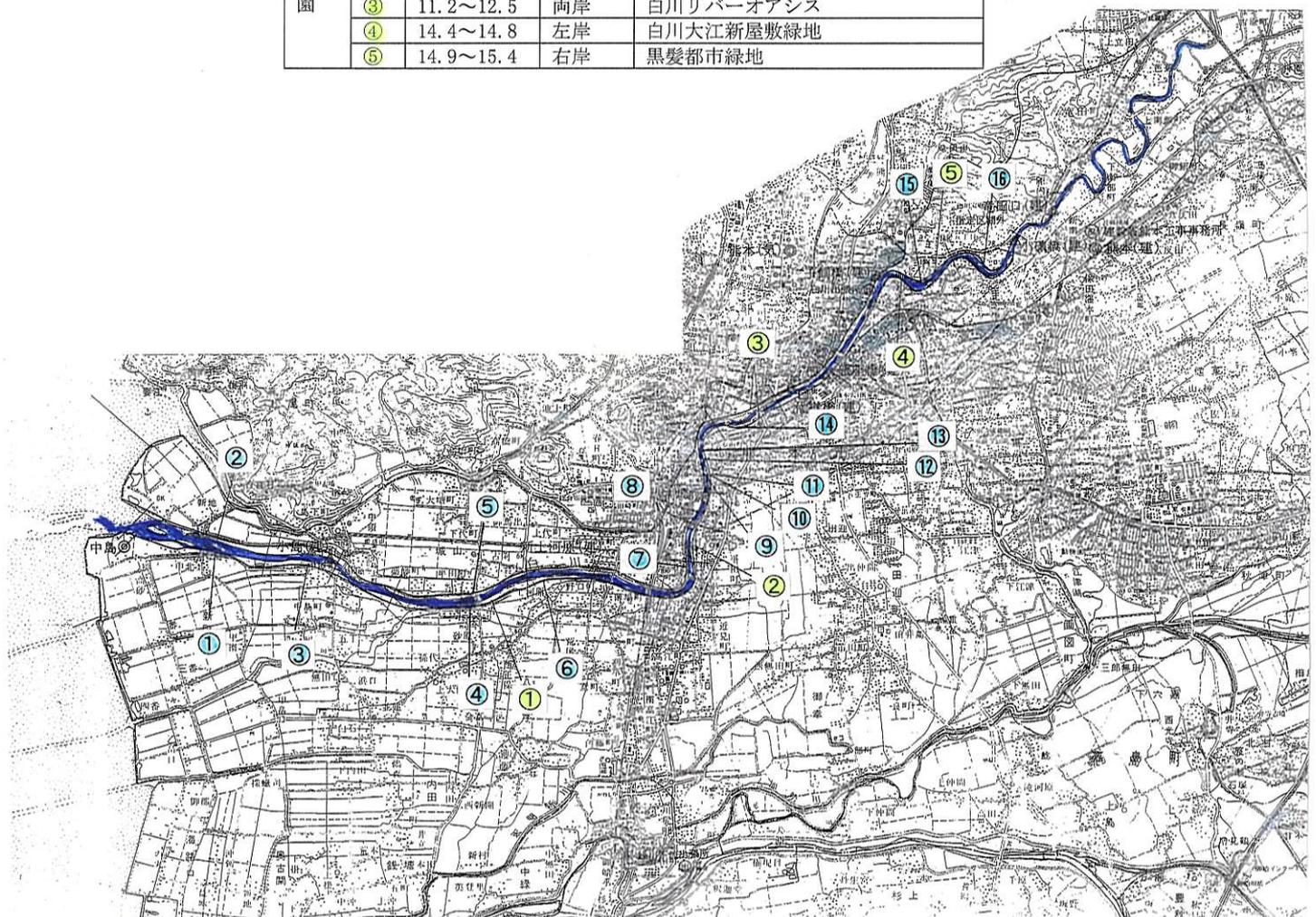


8-2 高水敷の利用状況

白川下流は熊本市中心部を流下しており、高水敷が整備され、運動公園，ゲートボール場，緑地等に利用されており、直轄区間では16個所の運動場と5ヶ所の公園が整備されている。

施設一覧表

施設	NO	距離標	左右岸	施設名
運動場	①	1.2	左岸	ゲートボール場
	②	1.2	右岸	ゲートボール場
	③	2.6~3.2	左岸	白川総合運動公園
	④	5.2	左岸	ゲートボール場
	⑤	5.3	右岸	ゲートボール場
	⑥	6.3	左岸	ゲートボール場
	⑦	8.7	右岸	ゲートボール場
	⑧	9.6	右岸	ゲートボール場、ソフトボール場
	⑨	10.1	左岸	ゲートボール場
	⑩	10.2	左岸	ゲートボール場
	⑪	10.2	左岸	ゲートボール場
	⑫	10.5	左岸	ゲートボール場
	⑬	10.6	左岸	ゲートボール場
	⑭	11.2	左岸	ゲートボール場
	⑮	14.5	右岸	運動広場
	⑯	16.6	右岸	ゲートボール場
公園	①	4.8~6.0	左岸	白川河川敷緑地
	②	8.9~9.5	左岸	平田十禅寺都市緑地
	③	11.2~12.5	両岸	白川リバーオアシス
	④	14.4~14.8	左岸	白川大江新屋敷緑地
	⑤	14.9~15.4	右岸	黒髪都市緑地



高水敷の利用位置図